令和6年度 第6回梅坪台地域会議 会議録

■ 日 時 令和6年9月10日(火) 午後7時～午後8時45分

■ 場 所 梅坪台交流館 2階 大会議室

■ 出席者

<委員> 岩崎 洋平 岩松 初男 川井 圭子
杉浦 隆 鈴木 重久 鎮西 和也
長江 秀昭 松川 幸江 山村 史子
依田 武人

<交流館> 杉山 浩子(梅坪台交流館 館長)

<事務局> 松下 誠(地域支援課 副課長) 大平 直樹(地域支援課 担当長)
吉村 亜美(地域支援課 主事)

■ 内 容

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告・協議事項

(1) 地区コミュニティ会議関係について(報告)

(2) 第9次豊田市総合計画の答申に対する検討結果について(報告)

(3) 地域課題について(協議)

■ 議事内容(要約)

3 報告・協議事項

(1) 地区コミュニティ会議関係について(報告)

・青少年育成委員会…夏休みにラジオ体操を実施。

10月20日うめっぴーバルーン作り講習会を予定。

・福祉・健康委員会…9月7日健康ミュージックサロンを開催。

・広報委員会…10月15日ふれあいだより発行予定。

・まちづくり委員会…8月末～9月頭の防災週間に啓発チラシを配布。

・その他…11月3日のふれあいフェスタでは、ラリーカーや木製ヨタハチレブリカの展示、上原の棒の手披露等を予定。

(3) 地域課題について(協議)

地域課題を整理し、今後の協議の進め方について協議した。内容は別紙のとおり。

■ 今後の予定

令和6年度第7回梅坪台地域会議

10月8日(火) 午後7時～梅坪台交流館大会議室にて

共有した課題

①自治区が抱えている課題

梅坪台地区の共通の課題は、高齢化が進んでいること。これにより、草刈り等の自治区行事に参加できる人や役員の担い手が減っている。高齢者の独居や空き家問題もある。住民の若返りが必要。

②子ども会の実態・抱えている課題

梅坪町自治区内の3つの子ども会について、運営体制は様々であるが、子ども会への加入割合は半数程度である。子どもや親が交流する場である子ども会の活動は存続したいが、役員となる親の負担が大きいことが加入を妨げる原因でもあり、課題である。

③地域の人が集える場所

梅坪台地区には集える場所が多くある。

公共施設…小中学校、交流館、区民会館、梅坪・浄水スポーツクラブ、地域医療センター、枝下緑道、籠川堤防沿い、梅坪神社、梅林公園、田古屋公園、梅ノ木公園、上原ふれあい広場、和合公園、京町公園、上河原公園、上豊田駅

民間施設…ZENTのコミュニティスペース、やまのぶ、ローソン、コメダ、はっぴー農産、ローカルカフェ

今後の協議に向けた意見

- ・子ども会や高齢者クラブの活動は、地域住民の交流や安心安全な暮らしのために重要な役割を担っているが、加入者は減少傾向にある。今の時代に合う組織のあり方を考える必要がある。
- ・子ども会、高齢者クラブ、自治区に共通している課題は、役員の負担が大きいこと、役員の担い手が少ない（又は、いない）ことが課題である。
- ・高齢者クラブに加入していない高齢者は、孤立してしまう。
- ・梅坪台地区は、4町合同の盆踊り大会があった。自治区の盆踊りもなくなってきている。コロナ等の影響でなくなってしまったが、地域住民が交流する行事が小規模でも復活すると良い。ただし、自治区等の役員の負担が大きいこと、食品提供のルールが昔より厳しくなっていること等の課題はある。
- ・梅坪台地区には「ふるさと梅坪音頭」があるが、活用して地域を盛り上げられないか。

結論

- ・生活環境を整備する目的は、子ども等地域住民がつながり、交流を深めることにある。
- ・今後の地域会議では、「地域と子どもとのつながり」をテーマとして協議を進めていく。